

一般質問通告表

令和7年第2回那覇港管理組合議会（8月定例会）

○ 一般質問 : 令和7年8月26日（火）

○ 質問人数 : 7人

○ 質問時間 : 1人20分

○ 質問順位 質問者 () 内は組織団体議会名

1番 清水 磨男 議員 (那覇市議会)

2番 西銘 純恵 議員 (沖縄県議会)

3番 西銘 啓史郎 議員 (沖縄県議会)

4番 野原 嘉孝 議員 (那覇市議会)

5番 島尻 忠明 議員 (沖縄県議会)

6番 山川 典二 議員 (那覇市議会)

7番 当山 勝利 議員 (沖縄県議会)

○ 議員別一般質問通告書

別添のとおり

一般質問通告表

令和7年第2回那覇港管理組合議会（8月定例会）

【8月26日(火)】

順位	時間	氏名	組織団体	答弁を求める者
1	20分	清水 磨男	那覇市 議会	管理者 副管理者 参事監、担当部長
質 問 要 旨				
1 那覇港管理組合の運営、財政状況について (1) 国の予算総額が過去最大を更新する一方、沖縄振興予算は減らされている。このような自公政権の予算組みに対して、沖縄県は、国の財政状況が厳しい中で配慮されたと評価している 那覇港管理組合としては、どう受け止めているのか伺う (2) 施政方針の中で、歳入の確保を図り、事業の選択と集中に取り組むと書いているため、その具体的な中身を議会質問したところ、予算作成の一般論の説明がなされ、具体的な歳入の確保策、どの事業を選択と集中するのかについて、一切答弁がなされなかった 「我々として優先順位を決めて、いわゆる選択と集中をやって、絶対にやっていけないといけない維持管理的なことは最優先にして予算を計上しております」、「どういう整備をやっていこうかというのは、利用者とかの事業の必要性とかも考慮しながら優先順位を決めて行っております」との答弁について、選択と集中、場合によっては取捨した内容など、改めて具体的な事業名で伺う (3) 歳入財源の確保について、「できるだけ施設を効率的に活用していただくということを進めておりまして、できるだけ、そういったところで収入				

を増やしていこうという努力をしている」という具体性の無い答弁が行われた

施設や事業について、改めて具体的に伺う

(4) GW2050PROJECTS推進協議会との関連が引き続き見受けられないが、進捗状況を伺う

(5) いわゆる那覇軍港が返還された際、那覇港管理組合の所管となる土地や施設があるか質問したところ、「将来については不明」として、全く分からないという内容の答弁があった

では、いつ、どこで分かるようになるのか伺う

(6) 施政方針での「国の事業である浦添ふ頭第一防波堤の着実な整備を促進」の内容を質問したところ、これは現状取り組んでいる100m程度のことであった

そこで、計画されている浦添第一防波堤全体の進捗を伺う

(7) 浦添沖合での2つのアセスについて、進捗状況を伺う

(8) 麻薬、覚せい剤など、違法薬物などの取り締まり状況を質問したところ、令和6年6月までの状況は答弁があった

その後について伺う

(9) Jアラートへの対応について、「国の国民保護ポータルサイトで示されている避難行動等について、庁内掲示板を通して組合職員へ周知する」、「各自が身を守る行動が取れるように取り組んでおります」と答弁しているが、避難のために出勤や、業務を中止した際の取り決めについて、どうなっているのか伺う

(10) 業務におけるハラスメント対策の取組はどうなっているのか伺う

2 自立型経済の構築に向けた取り組みについて

(1) 「アジアと日本を結ぶ中継拠点港化による航路網の充実を図りつつ、空

港との連携や、物流、交流、商流の相乗効果による臨空・臨港型産業の集積及び流通加工機能を生かした創貨を図ることにより、アジアのダイナミズムを取り込み、国際物流拠点となる港を目指していく」と答弁しているが、中継拠点港化は実現しているのか伺う

- (2) 実現している、または実現する予定の臨港・臨空型産業の集積を具体的に伺う
- (3) 空港との連携で、流通加工機能を生かした創貨とは、何が実現されるのか伺う

3 人流について

- (1) クルーズターミナルの利用実績、利用予定、また新たに誘致される船があれば伺う
- (2) 第二クルーズターミナルの進捗について伺う
- (3) 海上交通の交通拠点の認知度が低いことを那覇港みなとまちづくりマスタープランで認めている
バスや道路の名称など、ネーミングライツや地域からの名称募集を提案してきたが、進捗を伺う
- (4) クルーズ船利用者などへのアンケートについて、進捗を伺う
- (5) J1 対応サッカースタジアムについて、クルーズ船社が提供するアクティビティの多様化に資するため、県の関連部局と意見交換を行っていくと答弁しているが、進捗を伺う
- (6) 那覇港を発着する予定のジェットフォイルについて、進捗状況を伺う

4 那覇港みなとまちづくりマスタープランについて

- (1) 改定の目的に、観光の高付加価値化を挙げているが、高付加価値とは、具体的にどの程度のことが、数値で伺う

- (2) 「付加価値の高いクルーズ誘致」と挙げているが、何に対して、どの程度、どの面で付加価値が高いのか伺う
- (3) 地元住民が那覇港エリアを楽しみながら周遊できる海上交通のネットワークについて、具体的な内容を伺う
- (4) 一文字はどう位置付けられているのか伺う

5 那覇港港湾脱炭素化推進計画について

- (1) 計画の対象範囲のうち、港湾脱炭素化促進事業に位置付ける取組は、実施主体の同意を得たものとしている
同意が得られなかったものを伺う
- (2) 基準年の2013年度から、現状とする2022年度までに1.8万トンもの温室効果ガス排出量が増大しているが、その要因を伺う
- (3) 2030年度までに、現状の数値から、3.1万トンもの削減が必要になるが、その主な内訳を、具体的に伺う
- (4) クルーズ船の記載が見受けられないが、その取扱い状況を伺う

一般質問通告表

令和7年第2回那覇港管理組合議会（8月定例会）

【8月26日(火)】

順位	時間	氏名	組織団体	答弁を求める者
2	20分	西銘 純恵	沖縄県 議会	管理者 副管理者 参事監、担当部長
質 問 要 旨				
1 浦添新軍港建設に関する全体計画の内容を港湾図において説明されたい。また、工事の規模と順序、埋立資材の量、搬送の方法、工事期間と総事業費はいくらになるのか 2 浦添新軍港建設にかかる環境アセスの方法書の公告・縦覧が始まった。配慮書で指摘された知事意見の内容。それに対する対応策は示されたのか。また、方法書では配慮書段階の事業実施区域が拡大されているなどの指摘があるが、配慮書との違いや特徴、組合の受け止めを伺う 3 第30回那覇港湾施設移設に関する協議会で沖縄県から指摘された事項。それに対して防衛局から対応策は示されたのか 4 防波堤建設について (1) 防波堤建設は国土交通省が進めてきたが、過去5年間の建設予算と延長距離の推移を伺う (2) 軍港建設のために防波堤の距離が延長されるが何メートルから何メートルに延びるのか。本来の国土交通省の事業として防波堤の建設をすれば、これまでの実績から試算して、完成までにかかる費用はどれだけで期間は				

何年を要するか

- 5 改訂された那覇港みなとまちづくりマスタープランは基本方針が6点示されているが、3点目に憩いの場と安全・安心の確保が掲げられている。浦添西海岸は、県民や観光客の憩いの場になっているが、軍港建設は基本方針に反するのではないか
- 6 浦添西海岸で進めている交流・賑わいゾーンの埋立総面積と予算額、そのうち浦添市の事業となる交流厚生用地の埋立面積と予算額を伺う。南北の海岸線の埋立は北側ではパルコからどれだけの長さになるのか。環境アセスの進捗も伺う
- 7 那覇軍港に8月まで配備された米海兵隊の自立型無人艇(ALPV)の機能を問う。無期限延長されることを防衛局から伝達されたデニー知事は、基地負担の増加となつてはならないと、速やかな撤収を求めている。那覇港管理組合の管理者としても那覇軍港への無期限配備に反対をすべきではないか
- 8 港則法で海上保安庁が船舶の管理をすると答弁されているが、米軍の軍艦や潜水艦などの航行について、港則法と日米地位協定との関係を問う
- 9 米軍艦船の航行を規制する国内法があるか伺う
- 10 「特定空港・港湾利用」の指定とは何か。2024年4月に「特定利用港湾」に指定された石垣港は、自衛隊艦船だけでなく米軍艦船の利用が増えたのではないか。実態を伺う
- 11 那覇港湾事業にかかる政府の補助金額について、10年間の推移を問う

一般質問通告表

令和7年第2回那覇港管理組合議会（8月定例会）

【8月26日(火)】

順位	時間	氏名	組織団体	答弁を求める者
3	20分	西銘 啓史郎	沖縄県 議会	管理者 副管理者 参事監、担当部長
質 問 要 旨				
1 那覇港管理組合管理の港湾施設について (1) 「小舟溜まり」と「小型船だまり」の定義を伺う (2) 那覇港内に「小型船だまり」の箇所と管理者について伺う (3) 各々の「小型船だまり」の利用状況（種類別の小型船隻数）等について伺う (4) 「小型船だまり」の課題について伺う 2 マリンレジャー船舶について (1) 係留実態について伺う (2) 課題と対策について伺う 3 那覇港沖防波堤（一文字）について (1) 沖縄県釣り振興協会からの要望等について伺う (2) 短期・中期・長期的な取組について伺う				

一般質問通告表

令和7年第2回那覇港管理組合議会（8月定例会）

【8月26日(火)】

順位	時間	氏名	組織団体	答弁を求める者
4	20分	野原 嘉孝	那覇市 議会	管理者 副管理者 参事監、担当部長
質 問 要 旨				
1 物流の現状と今後の計画について以下伺う (1) 内貿及び外貿における輸入量と輸出量の推移 (2) 国際物流センターの運用状況 (3) 物流拠点2期計画のスケジュール (4) ガントリークレーンの稼働状況 2 クルーズ船受入れ事業について以下伺う (1) 2019年度から2025年度までの推移 (2) 第2クルーズバース・ターミナルの建設スケジュールと運営体制 (3) フライアンドクルーズの実績 (4) クルーズ船寄港時の収入と経費 3 一文字防波堤の民間利用における現状と課題について伺う 4 港湾計画と「GW2050PROJECTS」の連動について伺う 5 那覇ふ頭明治橋駐車場に使われている所有地の今後の計画について伺う				

一般質問通告表

令和7年第2回那覇港管理組合議会（8月定例会）

【8月26日(火)】

順位	時間	氏名	組織団体	答弁を求める者
5	20分	島尻 忠明	沖縄県 議会	管理者 副管理者 参事監、担当部長
質 問 要 旨				
1 那覇港管理組合管内の環境整備の取組について (1) 防災・減災等、災害に対応するためにどのような対策を取っているかを伺う (2) 防災訓練等に対する取組について伺う (3) 政府が進める『特定利用空港・港湾』について、どのように進めていくか伺う 2 浦添ふ頭地区を含む那覇港の整備については防波堤の整備が不可欠だと考えるが、整備についてはどちらが所管になるか伺う				

一 般 質 問 通 告 表

令和 7 年第 2 回那覇港管理組合議会（8 月定例会）

【8 月 26 日（火）】

順位	時間	氏名	組織団体	答弁を求める者
6	20 分	山川 典二	那覇市 議会	管理者 副管理者 参事監、担当部長
質 問 要 旨				
1 玉城管理者は 2018 年 10 月に第 8 代沖縄県知事に就任し約 7 年になる。沖縄県知事が那覇港管理組合の管理者を兼任しているが、この 7 年間で管理者として那覇港湾行政事業の成果は何で、達成できていない課題は何か伺う 2 那覇港湾行政の下記課題の現状と今後の取組について伺う （１） 港湾機能の高度化・効率化について ア 特に那覇港新港ふ頭及びふ頭再編整備事業の課題 イ クルーズ船受入れ体制及び第 2 クルーズバースターミナルビル整備の進捗 ウ コンテナ取扱能力の拡張及び物流効率化・デジタル化 （２） 那覇港管理組合の財政と組織運営について ア 港湾整備に必要な安定財源確保の対策 イ 国や組合構成 3 母体以外の港湾業者などとの広域連携 ウ 港湾技術職などの人材不足 （３） 環境・安全対応について ア カーボンニュートラル港湾 イ 台風・津波などへの防災・安全対策 ウ 那覇港湾内の岸壁・倉庫など老朽化施設				

- 3 那覇港湾内におけるトレーラーのシャーシの駐車保管場所が不足し業務の支障をきたしている。現況と原因、本組合の取組について伺う
- 4 那覇港管理組合新庁舎等施設整備の現状と進捗について伺う
- 5 沖縄県管理の中城港湾との機能分担、連携について伺う

一般質問通告表

令和7年第2回那覇港管理組合議会（8月定例会）

【8月26日(火)】

順位	時間	氏名	組織団体	答弁を求める者
7	20分	当山 勝利	沖縄県 議会	管理者 副管理者 参事監、担当部長
質 問 要 旨				
1 那覇港みなとまちづくりマスタープランについて (1) 平成21年度に策定された同プランにおける達成状況について伺う (2) 長期構想や那覇港港湾計画の改訂や那覇港を取り巻く社会情勢が多く変化していることからマスタープランを改定したとしている。今回改定されたマスタープランは改定前と何が変わったか伺う (3) マスタープランの推進体制の構築とあるが、現時点での予定について伺う 2 那覇港港湾脱炭素化推進計画について (1) 短期目標として2030年度までに26%削減と非常に厳しい目標である。実現のための今後5年間の具体的な施策について伺う (2) 高い目標設定であることから、計画の達成状況の確認と見直しは必須であると考えるが、対応について伺う (3) ブルーカーボン生態系の活用が検討されている。那覇港内の新たな埋め立てでどれだけのブルーカーボンが阻害されるか、具体的な検討をすべきである。対応を伺う 3 クルーズ振興について (1) 令和6年度のクルーズ船の寄港数及び観光客数について伺う。また、第2クルーズバースの利用状況について伺う				

(2) フライ & クルーズの令和6年度の実績と令和7年度の現状と予定について伺う

(3) 第2クルーズバースターミナルの進捗状況について伺う

4 第30回那覇港湾施設移設に関する協議会について

(1) 防衛省は浦添第一・第二防波堤について代替施設と一体的に防衛事業として進めるとの見解を示し、那覇港管理組合はそれに対し異存ない旨を示したと議事要旨にある。副管理者は以前、沖防波堤は国土交通省が整備すると議会で答弁しており、方向転換した形だが理由について伺う

(2) 防衛省は浦添第一・第二防波堤の整備にあたり費用便益分析を行っていない。那覇港管理組合としての見解を伺う

(3) 防衛省は作業ヤードについて、その候補地として那覇新港ふ頭や浦添ふ頭の未整備部分を示している。那覇港管理組合の対応について伺う